

# 全労金2023春季生活闘争ニュース・第29号

～勝ち取ろう賃金改善！“みんなの春季生活闘争”で生活不安を払拭しよう！～

《合意速報No. 7》

## 北海道労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

北海道労組は、3月23日9時30分から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要求						回答							
	正職員		パート職員			再雇用嘱託職員		正職員		パート職員			再雇用嘱託職員	
			P1	P2	P3	シニア	パートナー			P1	P2	P3	シニア	パートナー
最低賃金	時給額1,060円、日額7,770円、月額163,200円への引き上げ						要求通り							
基本賃金	改善内容	ONコース初任賃金引上げ/高卒170,000円、短大卒190,000円、大卒208,000円 ONコース月額賃金の引上げ/高卒5,000円、短大卒5,000円、大卒3,000円 ○キャリア1等級月額賃金の引上げ/高卒5,000円、短大卒5,000円、大卒3,000円	5,000円 ※下欄5,000円の引き上げ	3,000円	1,000円	○初任賃金203,000円に引き上げ ○在職職員3,000円の引き上げ	○初任賃金163,600円に引き上げ ○在職職員5,000円の引き上げ	ONコース初任賃金引上げ/高卒166,500円、短大卒186,500円、大卒206,500円 ONコース月額賃金の引上げ/高卒5,000円、短大卒5,000円、大卒3,000円 ○キャリア1等級月額賃金の引上げ/高卒5,000円、短大卒5,000円、大卒3,000円	要求通り	要求通り	要求通り	要求通り ※在職職員に要求額プラス7,000円の引上げ	要求通り	
一時金	4.7	1.2	2.0	-	-	要求通り	要求通り	要求通り	-	-				
昨年実績	4.7	1.2	2.0	-	-	4.7	1.2	2.0	-	-				
安定雇用	無期転換	-	(実現)	-	-	-	(実現)	-	-					
雇用環境	私傷病休暇	-	(実現)	-	-	-	(実現)	-	-					
	育児時短	小学校卒業まで（※現在は小学校4年生まで）				-	要求通り	-	-					
単独自主要求	「育児・介護休暇期間」の復職時賃金について、定昇テーブルの標準考慮で休暇期間中における昇給の実施					-	継続協議	-	-					
	性的指向、及び、性自認、性表現（SOGIE）やDV被害者への対応について、労使で課題を認識したうえで、必要な取り組みに関する協議の開始					-	要求通り	-	-					
関連会社	最低賃金を金庫職員と同額にする申入書を提出						申し入れを受け入れる回答							

### 《金庫の発言概要》

- 要求に応えられない部分や、現在進めている人事賃金制度の見直しの中で協議していく課題等もあることから、今後とも継続した協議をお願いしたい。
- 金庫としても闘争委員会が真摯に議論し、構築した要求であったことから、全てに応えたい気持ちがあったが、中長期の収支見通しや、将来に亘って安定的に賃金、労働条件が確保されることが重要であり、検討した結果であることを了承いただきたい。
- 連合や北労金労組が唱える「公正で持続可能な社会を実現していく」ためには、「人への投資」が必要であるということは共通の認識であり、今後ともその

ような考えのもと、対応していきたいと考える。

- 物価高が当面続くことが想定され、新型コロナウイルス感染症の対応が感染法上の5類に移行されることが予定されている中で、引き続き福祉金融機関としての役割が引き続き求められる。ろうきん運動としては、コロナ禍前に戻ることが想定されることから、会員・組合員に応えられる「ろうきん」をめざしていくことを願います。

#### 《鶴見闘争委員長の発言概要》

- 要求内容の実現は、新年度に向け、組合員に大きな期待を込めた、金庫経営陣からのメッセージであると同時に、インフレが急速に進み、異例の物価上昇が続いている中、今後の先行きが見えない不安を抱えて業務にあたっている組合員に対する、「安心して働いて欲しい」というメッセージであると認識している。
- 企業の原動力である人財の確保、安心して働き続けられる環境の整備、会員顧客とろうきん運動を展開し、発展させていくため、労使の思いを一つにして乗り切りたいと考えている。
- 年間一時金の回答については、支給原資に係る参考指標の構築について、2023年度上期末の成立に向け、真摯な議論・協議を継続するというものであるが、厳しい収益状況が今後も想定される中で、未来に向けた経営・雇用を守るための重要な協議であることを今一度、組合員と認識を揃え、全体で共有・確認していきたいと考えている。
- 今後も連合に集う仲間や労働組合の社会的役割、そして全国の労金業態で働く仲間との共闘・連帯を常に意識しながら、運動を展開していくこととあわせて、新年度からも福祉金融機関としての社会的役割を担う、北海道労働金庫職員の一員として、組合員が一丸となり「ろうきん運動」を展開していくことを約束する。

単組は、満額回答には至らない点もあったが、①金庫が示した回答は、賃金項目において初任賃金引き上げの一部有額回答を除き、労組が求める水準に達していること、②男女間賃金格差解消の取り組みについては、本春季生活闘争において労使で課題の認識が揃い、人事制度見直しに係る議論の中で、継続協議すること、③一部原資を伴う回答を引き出すことができたことについて、金庫経営者からの組合員の今年度の頑張りに報い、次年度・未来への期待を踏まえたメッセージであると受け止めたこと、等から基本合意を表明しました。

\*合意単組（5単組／3月23日16時10分現在）

静岡・四国（金庫）・四国（関連）・北陸・近畿（金庫）・近畿（関連）・北海道

以 上